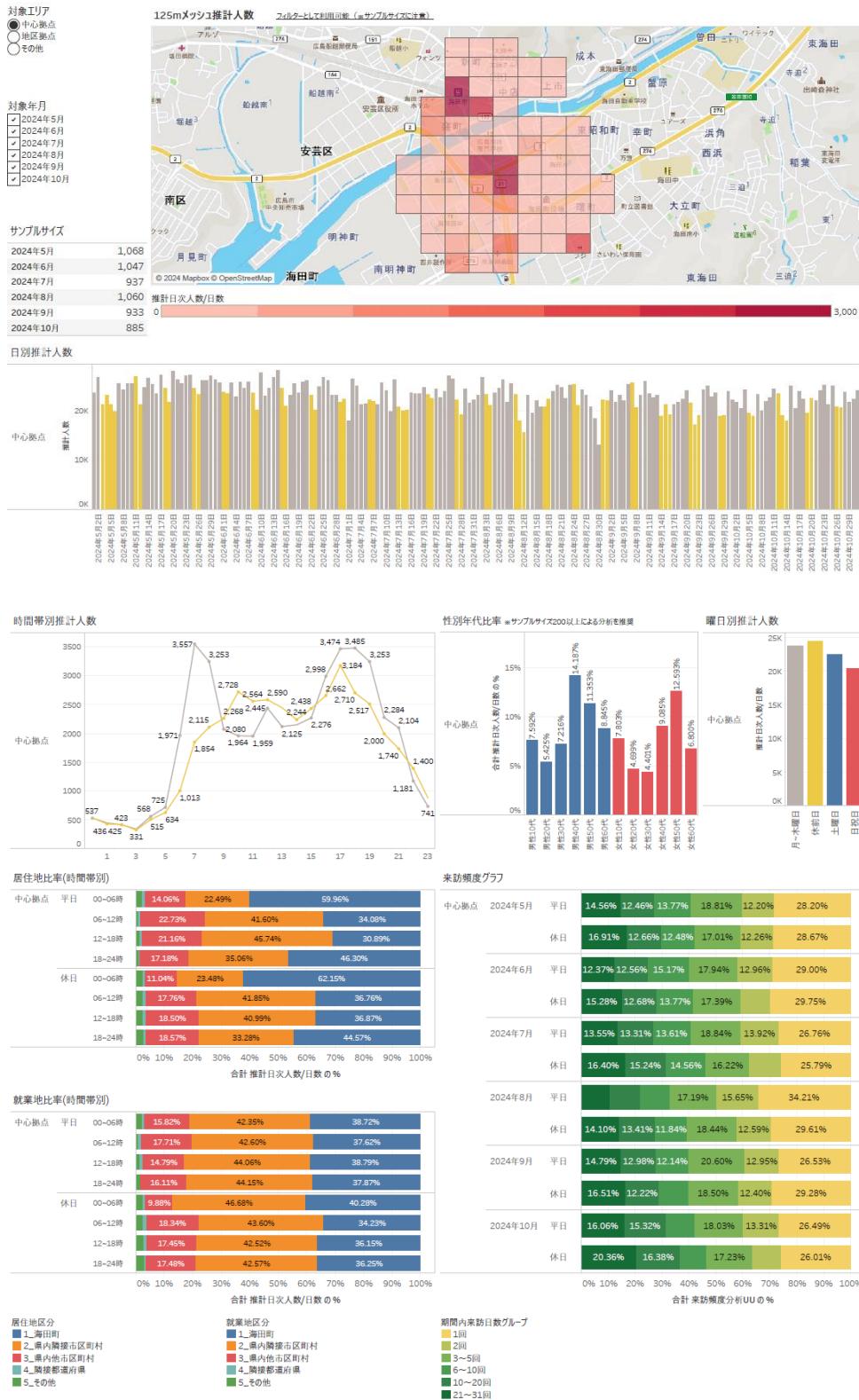


# 海田町における人流データを活用した来訪者分析の紹介(令和6年度)

## 海田町中心拠点の人流動向分析ダッシュボード(例)



国際航業社「Wi-Fi人口統計データ」より

## Q1.人流データとは？

### A1.

これまでは国勢調査などの統計情報を元に人々の活動を分析していましたが、これに加えて現在は「人流データ」を用いた分析ができるようになっています。人流データは、さまざまな手法で取得されますが、スマートフォンのアプリなどからユーザーの利用許諾を得て収集された位置情報をプライバシーに配慮した形で統計的に用いられるものや、カメラや各種センサーを用いて計測するデータなどがあります。

海田町では令和6年度に人流データを取得し、左の図のように地図やグラフを使って集計結果をまとめたダッシュボードを作成して来訪者の分析を行いました。

## Q2.データを見るとどんなことがわかりますか？

### A2.

たとえばこのダッシュボードからは次のことが見て取れます。

①海田市駅付近を含む中心拠点は、平日の朝と夕方に人流のピークがあり、全体的に休日よりも平日の方が人が多くなっています。このことから観光等で休日に来られる来街者が現在は多くない状況がわかります。

②日中は海田町にお住まいの方の比率が下がることから、皆様が他の地域にお仕事等で外出されて、また夕方に戻ってこられるようなベッドタウンのような傾向が見て取れます。

③来訪頻度(中心拠点で何回も検知される人)の比率が高いためから地域にお住まいの方の比率が高いことがわかります。つまり、他の地域からの来街者が現状は少ないと言えます。

## Q3.今後の活用について

### A3.

このような人流データをみることで、町の変化を確認することができます。たとえば、中心拠点にカフェなどの皆さんが快適に滞在できる空間ができると、休日に集まる人が増えていくと思われます。また、観光プロモーション等によって他の地域からの来訪者が増えると、その結果をデータで確認することができます。このように海田町で行われるさまざまな取り組みが、データによって確認することや、逆にデータから必要な施策を検討するなど、データに基づいてまちづくりを進めていくことができます。

海田町では今後も、住民の皆様とこのようなデータを見ながら話し合う住民ワークショップの実施などを行い、協働のまちづくりを進めます。